よこすか ストリート キャンバス

▲2020年（令和２年）11月に完成した、海岸通り最初のアート作品です。全長50mの大きな波型の壁泉だったモニュメントが、５名のプロのデザイナーのLOVEをテーマとしたデザインにより、華やかに生まれ変わりました。アートと一体化して撮れるフォトスポットにもなっています。

よこすか海岸通りに点在する古びたモニュメント

これらを新たな描き手により、素敵なアート作品によみがえらせ、美観の向上をはかりながら、多くの方の心がはずむ、よこすかの街づくりを目指しています。

新たなアートに加え、音楽・ダンスイベント等、新たなにぎわいが生まれていく、よこすか海岸通りの変化を一緒にたのしみませんか。

10,000メートルプロムナードとは？

JR横須賀駅から平成町、馬堀海岸を経て観音崎までの約10kmの遊歩道です。
昭和59年に「海と緑の10,000mプロムナード基本計画」を策定し、平成13年に市民の皆さまの意見を参考に「うみかぜの路」と愛称を決定しました。
プロムナード上には、「本市を代表する公園」や「ヤシの木が南国の雰囲気を感じる広い道路」などさまざまな地域資源が点在しています。

よこすかストリートキャンバス

ウォールアート1

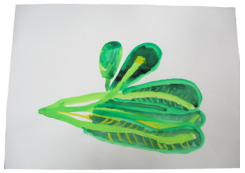
真ん中にまんまるい穴の空いた面白いデザインのモニュメント。横須賀の今、昔、・・・が、ポップでかわいいデザインの中にぎゅぎゅっと詰まったアートです。よく見ると、「あ、ここうちの近所のあれ！？」というディープなモチーフもあるかも？
うみかぜ公園のすぐそばにあり、お天気のいい日にはゆっくりと眺めてみるのも楽しい作品です。（公募作品　作者：草山 歩 様）

ウォールアート2

８面のウォールに描かれたアート作品で、描き手は、横須賀市と連携しいろんな事業に取り組んでいただでている関東学院大学の学生の方たちです。
ペンキを使用し、手作業で描いていただいたぬくもりを感じる作品や、鮮やかな色調で思わず写真を撮りたくなる横須賀らしいポップな作品が立ち並びます。
（関東学院美術部作品）
ストリートキャンバス第３弾！2022年（令和４年）２月完成

ウォールアート3

ウォールアート２と同じく８面のウォールに描かれる、市内の障がい者福祉事業所の利用者の方による、温かみを感じるアート作品です。
「生命（いのち）」「ポップ」等をテーマに約80作品の中から８枚が選ばれました。
（障がい者アート）
ストリートキャンバス第４弾！
2022年（令和４年）５月完成



この事業は、神奈川県川崎競馬組合が主催する「川崎競馬」の利益配分を活用した神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金を活用しています。
お問い合わせ：横須賀市役所経営企画部企画調整課　☎046-822-8131